

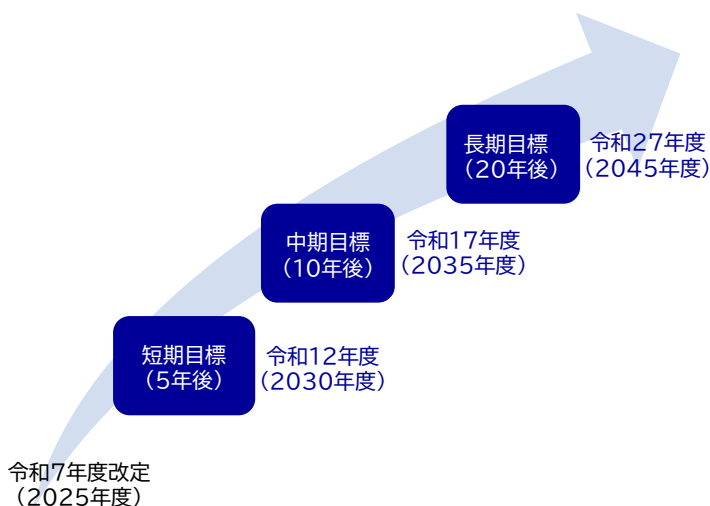
第1章 計画の概要

1-1 計画の見直しの背景と目的

- 「綾瀬市総合都市交通計画(以降「本計画」と表記)」は、本市の将来を見据えた総合的な交通体系の確立を目指し、望ましい都市交通を実現するための交通政策の基本的な方向を示すものです。
- 本計画は昭和59年度に策定を行い、社会動向の変化にあわせて平成6年度、平成22年度に改定しました。
- 今般、少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化、頻発する自然災害や気候変動、テクノロジーの進化といった、様々な社会の変革に直面しています。また、令和3年には綾瀬スマートインターチェンジの開通をはじめ、本市をとりまく交通環境も大きく変化しました。これらの背景や、上位関連計画の改定等を踏まえ、交通政策をとりまく様々な状況の変化に対応するため、本計画の改定を行うものです。

1-2 目標年次

- 本計画は、令和27年度(2045年度)を目標年次とします。
- 計画の実効性を高めるため、短期目標として5年後、中期目標として10年後を設定します。
- 各目標年次ごとに、評価・検証を行いながら必要に応じて見直しを図ります。



1-3 計画の位置づけ

綾瀬市総合計画2030

- 「綾瀬市総合計画2030」は、本市が持続可能なまちとしてあり続けるために、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間で目指すべきまちの姿を設定し、市政運営の基本となる方向性を定める計画です。
- 基本構想と実施計画の2層構造からなり、基本構想は、本市が目指すべき将来都市像及び10年後のまちの姿を定めるとともに、これらを実現するために優先的に取り組む戦略プロジェクトや実現化の方策などを位置づけています。実施計画は、戦略プロジェクトを構成する事業や、市が予算に基づいて実施する各行政分野の主たる事業を位置づけるもので、毎年度の予算と連動しています。

都市計画の視点

あやせ都市マスタープラン

- 「あやせ都市マスタープラン」は、「綾瀬市総合計画2030」の考え方にに基づき、それを都市計画の視点から具体化する役割を担っています。
- 「あやせ都市マスタープラン」では、交通分野の整備方針として、綾瀬スマートインターチェンジの開通に伴う周辺道路の整備や通過交通対策、主要幹線道路の4車線化、歩行空間・自転車走行空間の整備、バスなどの公共交通網の拡充が位置づけられています。

交通計画

神奈川県計画

かながわ
交通計画

かながわの
みちづくり計画

綾瀬市総合都市交通計画

- 「綾瀬市総合都市交通計画」は、「あやせ都市マスタープラン」の交通に関する部門別計画であり、交通政策の基本的な方向を示すものです。
- 地域公共交通や道路整備、環境、福祉等の部門ごとの具体的な取組については、「綾瀬市総合都市交通計画」に基づく実施計画として位置づけます。

地域公共交通

道路整備

環境

福祉

等

部門ごとに施策展開

地域公共交通計画

- 公共交通に関して、市民により身近で具体的な施策について検討し、展開していくものです。

道路整備プログラム

- 道路整備について、今後優先して整備すべき路線を評価した結果を「道路整備プログラム」としてとりまとめるものです。

図 本計画の位置づけ